

事業を通じた地域経済への貢献



マテリアリティの中長期ビジョン

	リスク	機会	対応の方向性
長期	<ul style="list-style-type: none"> 世界的にアセアン地域への投資が進み、労働力不足や人件費上昇への懸念 経済発展による域内・所得格差の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 人材の育成による経営基盤の強化 継続した設備投資による労働環境の改善、生産性向上・効率化 	<ul style="list-style-type: none"> 事業展開している地域に寄り添い、発展と課題解決に向き合い、共に成長を目指す
	外部環境	ステークホルダーのニーズや期待	中期目標
中期	<ul style="list-style-type: none"> アセアン地域における <ul style="list-style-type: none"> - 環境規制の強化と自国の電動車生産増に向けた電動化政策の推進 - マルチFTA(自由貿易協定)網の拡大による輸出入の円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> 雇用、人材育成、投資、技術移転、輸出、環境、社会貢献による地域の発展 	<ul style="list-style-type: none"> すべてのステークホルダー・社会への貢献を重視した事業展開 アセアン地域を事業中核地域として経営資源を集中

マテリアリティの2020年度目標と実績

○：計画通り △：遅れあり

主な取り組み内容	2020年度目標	指標	2020年度実績	自己評価
雇用	現地雇用の持続的な創出	雇用実績	タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムで、現地従業員計1万1千人(非正規雇用含む)の雇用創出	—
人材育成	地域経済の発展を担う人材の成長支援	研修件数 参加者数	代表的な研修 ディーラースタッフ向け営業・サービス研修/現地社員向け業務レベル強化セミナー/ 技術向上に向け「ものづくり教育」研修/内部統制、コンプライアンス研修	○
投資	地域経済の成長を支える設備投資の継続実施	投資計画の進捗	主な投資計画 タイ塗装工場更新、太陽光発電設備設置/フィリピン・アセアン向け商用車輸出準備/ ベトナム新工場検討	○
技術移転	現地生産の継続による地域の製造業の高度化支援	プロジェクトの進捗	主なプロジェクト ベトナム、マレーシアで『エクспанダー』の現地生産を開始/タイ、インドネシア、フィリピン、 ベトナムで、職業訓練校や技術系大学に奨学金付与、実習車両提供、訪問授業を実施	○
	エンジン現地生産化	事業性 KPI目標	事業性、KPI目標を達成し、インドネシアにてエンジン量産を開始	○
輸出	輸出による外貨獲得を通じた地域経済の成長支援	輸出台数実績	輸出台数、タイ20.2万台、インドネシア3.9万台	○
環境・社会貢献	当社独自技術・サービスを生かした地域社会問題の解決支援	貢献実績	『アウトランダー PHEV』を活用した取り組みを実施 タイで『アウトランダー PHEV』の生産開始、インドネシアで赤十字に貸与の『アウトランダー PHEV』が新型コロナウイルス感染症防止活動に従事など	○



基本的な考え方

三菱自動車は、アセアン地域でモータリゼーションが興る以前より事業を展開し、「地域の発展」が「当社の発展」という思いで地域に寄り添いながら各国と共に成長してきました。

長年にわたり事業活動を行っている地域の社会課題の解決に積極的に取り組み、共に成長を目指すことは、地域の活性化、市場の育成、消費者ニーズの把握、当社ブランド力の強化などにつながり、社会的価値と当社の企業価値を同時に実現できると考えています。現在の中期経営計画「Small but Beautiful」では、アセアンを事業中核地域として経営資源を集中投入し、お客様に求められる製品を提供することで更なる成長を目指しています。また、マテリアリティ「事業を通じた地域経済への貢献」では、アセアン地域における事業の発展を通じ、雇用・人材育成・投資・技術移転・輸出による地域経済への貢献を果たすことを目標として取り組んでいます。(※1)。

加えて、アセアン地域固有の社会ニーズに応える形で、環境と社会貢献の分野でも当社独自の技術・サービスを生かして取り組んでいます。(※2)

※1：「マテリアリティの特定」の詳細は、P11をご参照ください。

※2：具体的な事例は、P89-92をご参照ください。

マネジメント体制

アセアン地域でのマテリアリティへの取り組みは、活動の計画策定および遂行は現地子会社が担い、管理監督機能を果たす当社の営業部門が責任部門として、取り組みを推進しています。生産拠点を持つタイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムの4カ国については、半年に一度、現地子会社に取り組みの進捗や実績を確認し、サステナビリティ委員会を通じて経営層に報告を行っています。

雇用

特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響など市場低迷からの経済再生、発展を目指すアセアン地域において、地域の雇用を継続して創出することは当社の使命と考えています。生産拠点のあるタイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム4カ国における2020年度従業員数は約1万1千人であり、2021年度も事業計画に沿って雇用の創出に努めます。

人材育成

産業の高度化を目指すアセアン地域において、当社での自動車製造や販売・サービスなどの就業経験を通じ、専門的な知見や技能を培うとともに、地域経済の発展を担う産業人材への成長支援を行っています。2020年度は、新型コロナウイルス感染対策を徹底しつつ、オンラインを活用するなど各国それぞれの状況に応じた研修やOJT教育を提供しました。タイでは営業・サービス研修を約2万人の従業員とディーラースタッフに実施し、インドネシアでは、現地社員にそれぞれの職務レベルに合わせた業務スキルを強化する研修をオンラインで実施しました。フィリピンでは、生産部門の技能向上を意図した「ものづくり教育」研修を約200人の社員が受講し、専門性を高めています。2021年度も継続して、各国の状況に応じた研修やOJT教育を行う予定です。

投資

地域経済の成長を支える工場の設備投資を継続的に実施しています。海外最大の生産拠点であるタイでは、新塗装工場の建設、太陽光発電設備の設置など、環境負荷を低減する生産体制の再構築を進めています。また、フィリピンでは、商用車『L300』の輸出のための生産整備を進め、ベトナムでは、新工場建設の検討を進めています。



技術移転

アセアン地域での生産拠点が果たす技術移転として、現地生産を継続することで地域製造業の高度化を支援します。また、品質向上やコスト低減などバリューチェーンに変革をもたらすような工場の競争力強化にも取り組んでいます。2020年度はベトナム、マレーシアで小型MPV『エクспанダー』の現地生産を開始しました。インドネシアでは、『エクспанダー』搭載用エンジン組立ラインを新設し、新たな雇用を創出すると共に、日本からの技術移転や部品の現地調達化を推進し、2020年度より量産開始しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外からの技術者派遣に制限がある中、リモート活用による現地支援を行うなどの工夫により、概ね計画通りに生産を開始しました。アセアン地域においてタイに続きエンジン生産拠点がさらに増えたことにより競争力を強化しました。

また、2020年度はタイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムの地域の技術系大学や職業訓練校に、奨学金による支援や実習車両の提供、訪問授業の実施、教師へのオンラインセミナーの開催など技術移転の視点での職業訓練支援を実施しました。

輸出

輸出を通じて外貨を獲得することで、地域経済の持続的な成長を支えています。三菱自動車の海外最大の生産拠点であるミツビシ・モーターズ（タイランド）・カンパニー・リミテッド（MMTh）は戦略的な立地を生かし、ピックアップトラック、SUVなど当社の主力車種をアセアン地域のみならずグローバルに輸出しています。2020年度の市場は新型コロナウイルス感染症拡大により大変厳しい状況でしたが、タイ国内からの輸出台数は20万台、インドネシアからは、小型MPV『エクспанダー』約4万台を出荷しました。今後もアセアン域内での生産の相互補完体制を強化し、アセアン域内・外への輸出を維持していきます。

環境・社会貢献

環境規制への対応が従来にも増して大きな課題となっています。モビリティの普及、世界的に電動化が進む中、アセアン地域においても電動車の導入が急がれています。当社の強みである電動車の技術・知見を生かし、各国の電動車普及や地域社会の課題解決を支援します。2020年度は、プラグインハイブリッド『アウトランダー PHEV』をタイで現地生産・販売を開始し、フィリピンでは販売を開始しました。インドネシアでは、赤十字に貸与した『アウトランダー PHEV』が給電機能を生かして新型コロナウイルス感染症防止活動に従事しました。今後も電動車やEVインフラにかかわる技術・知識の提供を通じ貢献していきます。